

片平町内会長 中山 豊

今夏も日本列島の様々な地域で災害に見舞われ、尊い命が奪われたり、通常の生活ができずに大変なご苦勞をされたりしている皆さんのニュースが伝えられました。亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、今なお不自由な生活を続けている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の熊本地震で広く伝えられたことは、避難所には入らずに車中泊や自宅の横にテントを立てて生活される方々が増えているということでした。車の中で災害関連死とされた方もいたようです。川崎市でも避難所に入る皆さんは、大雨で家が危険区域に入っていたり住居が使えなかったりした方々等の避難所として想定しているので（多くの方が避難しても入りきれません）、それ以外の方々は自宅という体制になります。そうした時に避難所にいない方々に、どのように救援物資を届けるのかが一つの課題になることを知りました。言葉にすると「ラストワンマイルの体制づくり」だそうです。

このことについて行政がどのように考えているかは今後詰めていくこととして、私たちが今すぐにできることは、各ご家庭である程度の備蓄品を準備することと、町内会の公式ラインに登録していただくことだと思っています。

片平地区では白鳥中、片平小、柿生小の3か所に避難所は分かれますが、なんとか3か所の避難所の様子、救援物資の状況、その他様々な情報は公式 LINE を通してお伝えして、ラストワンマイルを少しでもつなぐことができるようにしたいと思っています。

万が一の際に、ご自分やご家族の身を守る要素を少しでも広げるために、町内会公式ラインへ登録しておくことをお勧めします。

現在、町内会公式ライン加入件数は271件で、会員世帯数の1割程度です。

※ 左は町内会公式ライン用の QR コード

※ 右は町内会 HP 用 QR コード

